



【学校教育目標】 「地域を愛し、心豊かにたくましく生き抜く生徒の育成」

I 【人権・同和教育の充実】

つながる

生徒一人ひとりが、周りから大事にされていると実感する集団づくりをめざし、自尊感情を高めます。

- ⇒ ア 学習計画帳を通して生徒と気持ちの交流を図れるよう、提出の習慣化をめざします。
- イ 人権学習、「城東のつどい」、人権講演会などのとりくみでは、自分や仲間をみつめるための発信・交流の場を設定します。
- ウ 生徒にできる限り言葉をかけるとともに、授業・帰りの会等で生徒へのプラスメッセージを発信します。
- エ 差別をなくそうとする気持ちと態度を、学習を通して育てていきます。

評価目標 ①学級等で自分の思っていることや考えていることが言える。【85%】

②今の自分が好きと言える。または、自分にはよいところやがんばっているところがある。【85%】

II 【学力の向上】

わかる

生徒がわかる授業の創造を目指し授業改善に取り組むとともに、家庭学習習慣の定着に努め、自分の目標実現に向けて学習に向き合う力を育てます。

- ⇒ ア 学習の見通しをもつために毎時間の授業の「めあて」を明示するとともに、学びを深めるための「ふりかえり」の場を設定します。
- イ 表現交流・小集団学習の時間を授業に設定します。
- ウ 授業力向上を目指し、研究授業や授業参観に積極的に取り組みます。
- エ 毎時間、宿題を提示し、やった効果を実感する手立てを工夫します。
- オ マイスタノートの活用を図り提出を習慣化します。
- カ 読書の習慣化を図るために取組の工夫と研究をします。

評価目標 ①授業内容がよくわかる。【90%】

②家庭学習では、目標時間(1年70分、2年80分、3年90分)以上、家庭学習にとりくんだ。【80%】

③自分の設定した目標時間以上、読書をする事ができた。【70%】

III 【キャリア教育の推進、地域との連携】

であう

出会い・体験学習を通して、気づきと感動を大切にしたりくみを進め、将来への夢や目標をもって生活する力を育てます。

- ⇒ ア 毎学期、ゲストティーチャーや講師を招いての学習を充実します。
- イ 校区探検、職場体験、修学旅行などの体験活動や交流活動から学習する機会を充実します。
- ウ 学校運営協議会と連携し、地域の人との交流から学ぶ機会を増すように努めます。
- エ 学年通信、学校だよりの発行、ホームページ等による発信の充実を努めます。
- オ 健康で安全な働き方について学習を進め、生徒と向き合える時間の確保に努めます。

評価目標 ①人権学習や体験学習を通して、自分を見つめ、生き方について考える事ができた。【90%】

②体験学習や人との出会いの機会を通して、将来の夢や目標をもつ事ができた。【80%】